品名/Description
ケース バクモン ドウトウ p12
版下番号/Artwork code
SP2405023
作業日/Date
2024.7.3
校数/Version
2校
作業者/Creator
03

K	C
M	Y
特ベニ	no coat
	–

図面(単面)変更/Dieline change
×　(SAK2-39③)

ニス窓変更/Varnish change
◯ (流用SP000082)

箔押し変更/Foil stamping chang
–

その他加工/Other processing
–

備考 /Remarks

2024.7.3
校正者/Editor
小田

カネコナル印刷株式会社

第2類医薬品

阪本漢法の麦門冬湯（ばくもんどうとう）

顆粒

眠くなる成分は入っていません

からぜき、咽頭炎、しわがれ声、気管支炎、気管支ぜんそく

満量服少®

有効成分そのまま！

飲みやすくなりました（1包あたり3g→2g）

満量処方

日本薬局方 麦門冬湯エキスの
1日最大量27gの生薬から
抽出して得られたエキスを
全量配合した顆粒剤

【保管及び取扱い上の注意】
(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
(2) 小児の手の届かない所に保管してください。
(3) 他の容器に入れ替えないでください。
（誤用の原因になったり品質が変わります。）
(4) 湿気などにより薬が固化することがありますので、1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、速やかに服用してください。
(5) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

【お客様相談室】☎ 06-6423-0565
（祝日を除く月～金曜日10:00～17:00）

【製造販売元】株式会社 阪本漢法製薬
兵庫県尼崎市名神町1-5-12

副作用被害救済制度 ☎0120-149-931

阪本漢法の麦門冬湯（ばくもんどうとう）
顆粒

満量処方

12包

第2類医薬品

眠くなる成分は入っていません

からぜき、咽頭炎、しわがれ声、気管支炎、気管支ぜんそく

4 987076 626722

袋：PE、金属

紙 箱

製造番号 [redacted]

使用期限

S4

この箱は本剤とともに保管し、服用の際にはよくお読みください。

漢方製剤
第2類医薬品

【販売名】阪本漢法の麦門冬湯顆粒

【効能・効果】
体力中等度以下で、たんが切れにくく、ときに強くせきこみ、又は咽頭の乾燥感があるものの次の諸症：からぜき、気管支炎、気管支ぜんそく、咽頭炎、しわがれ声

【用法・用量】
1日3回食前又は食間に水かお湯で服用してください。

年　齢	1回量	服用回数
成人（15歳以上）	1包	1日3回
7歳以上　15歳未満	2／3包	
4歳以上　7歳未満	1／2包	
2歳以上　4歳未満	1／3包	
2歳未満	1／4包	

※食間とは食後2～3時間を指します。

<用法・用量に関連する注意>
(1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
(2) 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させてください。

【成分・分量】
成人1日量3包（1包2.0g）中　日局 麦門冬湯エキス 4.4g

成分	分量	成分	分量
日局 バクモンドウ	10g	日局 タイソウ	3g
日局 ハンゲ	5g	日局 ニンジン	2g
日局 コウベイ	5g	日局 カンゾウ	2g

より製した乾燥エキス
添加物：乳糖水和物、結晶セルロース、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム
※本剤は天然物（生薬）のエキスを用いていますので、顆粒の色調等が多少異なることがあります。

押して開ける

⚠使用上の注意

☒ してはいけないこと
（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる）
次の人は服用しないこと　生後3ヵ月未満の乳児

相談すること
1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
(1) 医師の治療を受けている人
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
(3) 水様性の痰の多い人
(4) 高齢者
(5) 次の症状のある人
むくみ
(6) 次の診断を受けた人
高血圧、心臓病、腎臓病
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症　状
消化器	食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症　状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 1ヵ月位（からぜきに服用する場合には1週間位）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること